

【前期選抜】

Q1

前期選抜はすべての高校(学科)で実施されますか。

A1

全日制においては、すべての高校(学科)で実施します。定時制については、市立伏見工業高校、府立北桑田高校美山分校、府立福知山高校三和分校の3校の昼間定時制で実施します。

Q2

前期選抜で2つの高校(学科)に志願できますか。

A2

できません。前期選抜は、1校1学科のみの志願となります。

Q3

出願後に志願先を変更できますか。

A3

高校に願書を提出した後の変更はできません。これは、中期選抜・後期選抜も同じです。

Q4

前期選抜で志願した高校(学科)に不合格だった場合、再度、同じ高校(学科)を中期選抜で志願できますか。

A4

できます。ただし、前期選抜で定員の100%を募集する専門学科等については、中期選抜での募集は基本的には行いません。なお、前期選抜で合格した場合は、同じ高校に限らず、他の高校でも中期選抜には志願できませんので、ご注意ください。

Q5

前期選抜で志願者が募集人数に満たなかった(欠員が生じた)場合、その欠員分は、中期選抜で募集するのですか。

A5

前期選抜と中期選抜の両方を実施する高校(学科)については、前期選抜の欠員分も中期選抜で募集します。ただし、前期選抜で募集定員の100%を募集する専門学科等については、各高校独自の問題を用いるなどして、その学科等に対する入学後の学習への適性を判断しますので、基本的には欠員があっても中期選抜での募集は行いません。

Q6

前期選抜で、選抜方式（A～C方式）が分かれている高校について、例えば、一方の方式の志願者が募集人数に満たなかった（欠員が生じた）場合、その欠員分は、もう一方の選抜方式の募集人数に加えられるのですか。

A6

はい。基本的には、前期選抜全体の募集人数の範囲内で合否判定します。ただし、もう一方の選抜方式にも欠員が生じている場合など志願状況等によっては、欠員分を中期選抜で募集する場合があります。

Q7

前期選抜の共通学力検査問題の出題傾向や難易度はどうなりますか。

A7

中学校で学ぶ内容（学習指導要領）の範囲を基本とします。基礎的・基本的内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な力（思考力、判断力、表現力など）をより把握できるよう、これまでの一般選抜よりも、記述式の解答を求める出題を増やす予定です。

Q8

前期選抜の共通学力検査問題の配点や検査時間、時間割はどうなりますか。

A8

国語・数学・英語の各教科とも50点、検査時間は1教科50分で実施します。時間割は、「第1時限・国語 第2時限・数学 第3時限・英語」とします。

（共通学力検査と学校独自の学力検査を組み合わせる場合の時間割など、詳しくは、9月上旬頃公表予定の「選抜要項」でお示しします。）

なお、前期選抜・中期選抜の共通学力検査は次のとおりです。

	前期選抜	中期選抜
検査教科	国語・数学・英語	国語・社会・数学・理科・英語
検査時間	1教科50分	1教科40分
配点	1教科50点	1教科40点

※後期選抜の共通学力検査（国語・数学・英語）の配点や検査時間等は「選抜要項」でお示しします。

Q9

前期選抜の共通学力検査「英語」で、リスニング（聞き取り検査）は実施されますか。

A9

はい。筆記とリスニング（聞き取り検査）を合わせて50分の検査を実施します。（中期選抜においても、これまでと同様に、「英語」でリスニング（聞き取り検査）を実施します。）

Q10

活動実績報告書とは、どのようなものですか。

A10

中学校在学中の部活動や特別活動、学校外での活動などの状況について、中学校長が作成するものです。記入する内容の詳細や様式については、「選抜要項」でお示しします。

Q11

私立高校を第1志望（推薦または専願で受検）として公立高校を併願することはできますか。

A11

前期選抜で公立高校を希望する場合は、第1志望としてください。